

シン・スンナムの「レクイエム」に描かれた強制移住の実像 生き証人が語りつぐ真実の物語

하늘색 고향 空色の故郷

絵に刻まれた中央アジアのコリアン・ディアスポラ



- 2000 釜山国際映画祭 ウンパ賞
- 2000 ソウル国際ドキュメンタリー映画祭 大賞
- 2001 山形国際ドキュメンタリー映画祭 スペシャルメンション賞
- 2001 アムステルダム国際ドキュメンタリー映画祭 コンピティション部門 公式上映
- 2001 ニューヨーク・アジア・アメリカン国際映画祭 公式上映
- 2001 フランス国際オーデオ・ビジュアル映画祭 公式上映
- 2002 台湾国際ドキュメンタリー映画祭 アジア映画振興機具賞

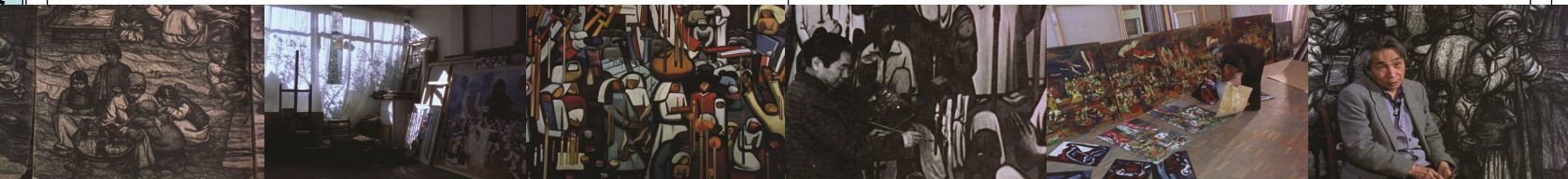


「マドンナ」1982 キャンバス・油彩 70×100cm

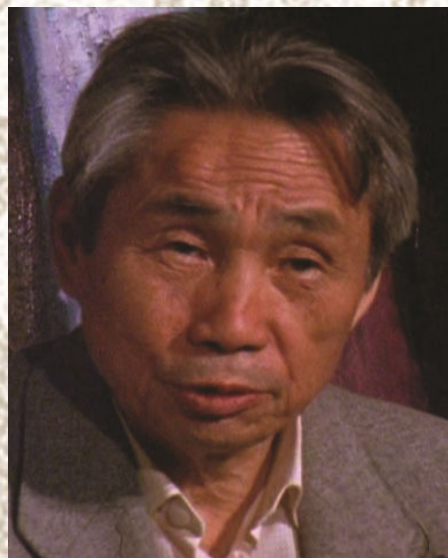
監督: キム・ソヨン

企画: キム・ソヨン 撮影: ニコライ・ゲラシモフ、チョン・ジョンフン 編集: ムン・インデ、キム・ソヨン 照明: チェ・ソクジェ、コズム、ダニヤル、ニグマツ 録音: ハミッド、ラブシヤン、ハン・チョリ
製作進行: ベク・ホリム、イム・キョンギョ、イエ・ソンイル、キム・テホ 演出部: イ・ジョンジェ、チョン・ヒスク、パク・ギヨン、シン・ヒョン Chol 照明部: キム・ヒョン Chol、イ・ドンジン、チョ・ミンジュ
演奏曲: チョン・ミョンウア、イ・ヨンジョ 音楽: キム・ジュンソン、ヒョン・ドック 音楽録音: ホ・ソンヒョク、シン・ソホン 撮影部: クレパル・パシャ、キム・ヨン、ムン・サン Chol、イム・ドンイク キネコ: ヨコシネ
録音部: ウリアーム、モラッド、イルホーム、イム・ドンソク、キム・クァンス、ソ・ボンギ 6mm撮影: ソン・サンジェ、キム・ピョングック 8mm撮影: イ・ピョンホ、ゴ・ヒョン Chan ミキシング: ソ・ランジョン
効果音・編集: ソ・ジェヨン 効果音: キム・ハクジュン 音響効果: チョン・ジョン 露・韓翻訳: オム・スジョン、オ・ゴンジュ、チェ・マリータ、タチアナ・リャブリエンコ 韓・英翻訳: ゲーリ・レッター、イ・ジンヨン
タシケント・翻訳: キム・アンドレイ、ベク・アリオナ、チョン・イリナ、チェ・ジェリナ、キム・ブラディミル、キム・セルゲイ、パク・ナジャ 現像: ハリウッド・現像所、モスクワ・アスタノキノ、韓国映画進興委員会
ネガ編集: キム・ヒョンソップ 台詞編集: イン・サンヒョン 35mmプロウ・アップ: イマジカ スチール: キム・レヨン カラー・コレクション: イ・ヨンギ タイトル: ジュ・クワンドン テレシネ: A&D、ワイドビジョン
「日本語字幕版制作」コーディネーター: 岸野・令子、編集: ビデオ工房アカメ、翻訳: 倉・澄子、協力: 安井・喜雄、デザイン: キム・ソンミン

製作: シネマヤ / 2000年 / 本編 93分 / カラー / ドルビーデジタル / 音声: 韓国語、ロシア語 / 字幕: 日本語、英語



《アジアのピカソ》と呼ばれる画家シン・スムナム、彼が描いた 畢竟の大作「レクイエム」は「ファシズム」が起こした悲劇を再現する。



1937年、スターリンは、沿海州の約20万人のコリアン(高麗人)に日本のスパイという濡れ衣をきせ、中央アジアに強制移住させた。

風土病と伝染病で数多くの命は奪われ、生き残った者は悲しむ間もなく荒地を開墾していった。

当時、9歳の少年シン・スンナム(ニコライ・シン)の脳裏に焼きついたその記憶は、連作絵画「レクイエム」として結実した。

彼の全生涯(22歳で構想、70歳で完成)をかけて描かれた大作「レクイエム」は、中央アジアのコリアン・ディアスポラの一記録として高く評価され、ピカソの「ゲルニカ」に匹敵する作品と言われている。

歴史は芸術の中に刻まれ、芸術は歴史の中で蘇る。

メッセージ

監督：キム・ソヨン (Kim・Soyeong)

この映画は2003年ソウルでの上映以降、10年後に日本語字幕版が作られ、日本の観客との出会いを迎えている。映画の上映日にあたる8月18日は、シン画伯の命日である。生前、彼は、広島原爆犠牲者の為のまた一つの「レクイエム」を制作し、その展覧会を日本で開催することを望んでいた。

惜しくも、彼の夢は叶えられなかったが、今回の上映会はフィルムを通して彼の代表作に接するよい機会だと思う。数十年前の事件をまるで昨日の事のように生々しく、そして、最後になるかもしれない証言を語ってくれたウズベキスタンに強制移住されたコリアン1世のシワの寄った顔が、未だ鮮やかに頭の中に残っている。フィルムの中に刻まれた彼らの生と、シン画伯の静かな告白に耳を傾けて頂いたら幸いだと思う。



「韓国女性監督特集2013」- 映画「空色の故郷」上映日程 2013年8月17日(土)より

※8/17(土) 舞台挨拶

※8/18(日)、8/24(土) トークイベント

17日(土) 12:50	23日(金) 12:50	28日(水) 13:00	9月4日(水) 14:30
18日(日) 15:00	24日(土) 11:00	30日(金) 11:00	9月5日(木) 16:40
20日(火) 12:50	27日(火) 11:00	9月1日(日) 14:30	
21日(水) 15:00	26日(月) 11:00	9月2日(月) 16:40	

観料金 一般：1,500円
学生・シニア・会員：1,000円

シネ・ヌーヴォX

地下鉄中央線「九条駅」6号出口徒歩3分
阪神なんば線「九条駅」2番出口徒歩3分

TEL:06-6582-1416
<http://cinenouveau.com/>

強制移住に対する生々しい証言、約100年の間に蓄積された歴史的資料映像、シン画伯の絵画、オリジナル・サウンドトラック(映画音楽には世界的なチェリスト、チョン・ミョンファの演奏曲「オンマヤヌナヤ※訳:母よ姉よ」が捧げられた)で構成された35mmフィルム・ドキュメンタリー「空色の故郷」のDVDの発売開始!

個人価格 5,000円(税別) ライブラリー価格 20,000円(税別) 上映権付き価格 30,000円(税別) TEL/FAX 06-4805-0234
販売/ビデオ工房AKAME 〒532-0011 大阪市淀川区西中島4-7-2チサンマンション新大阪707